

# けたよ 体験イベント

陸前高田

まずは拾うことを楽しんで、化石への関心を高めてもらえれば」と話していた。

体験イベントは、19日も午前10時～11時30分まで開催。同館では粘土を使った恐竜工作などが体験できる「恐竜誕生」（午後1時30分～3時、各回30分前）から先着順受付も行われる。参加無料。問い合わせは市立博物館（Tel080・1694・7794）へ。

喜来中学校

前高田

高田小4年の佐々木美紗さんは、探するのは難しかったけど、いろんな形があることを知って、勉強になりました」と語り、笑顔を見せていた。

有孔虫の化石は、太古の海の環境を推定したり、地層の年代を決める手がかりとして、研究が進められてきた。加藤さんは「大船渡や陸前高田の石灰岩にも、有孔虫の化石がいっぱい入っている。

## 七観音まばゆく

### 鈴木さん方で公開

盛町

『観音様の日』の18町5の11、商業・鈴木日、大船渡市盛町字木巖さん(82)宅に代々



伝わる「稲子澤七観音」の一般公開が行われた。

まばゆく輝く七観音は、文化12年(1815)6月、三陸沿岸を代表する長者・稲子澤



完成に期待しながら、成形した土器の野焼き

店舗群「地ノ森ヒルズ」で18日、「地ノ森ヒルズ祭」が開かれた。初めてのイベント開催となり、店主らが屋台を出して各店のPRに努めた。

地ノ森ヒルズは独立行政法人中小企業基盤整備機構が地ノ森仮設住宅近くに設置した仮施設で、2階建て2棟に飲食店や理・美容、針きゅうなどの10店が入り、昨年12月ごろから営業スタートしている。

この日も前日に続き蒸し暑い一日となったが、来場者たちは有志による津軽三味線やアコーディオン演奏が流

家から分家する際に持たせられたと伝えられている。

中央の聖観音(しょうかんのん)を囲むように、千手、馬頭、十面、不空羅索(けんじやく)、准胝観音(じゆんでい)、如意輪の六観音を安置している。

制作から長い年月がたち傷みが激しくなっていたため、鈴木さんが平成16年に大東町在住の京仏師・石川昇明

観音の諸像が整えられた時期と同じころとみられていました」と話していた。



祭Ⅱ大船渡町